

## 第2例会 予想外の盛況でうれしい悲鳴 運営方針に課題も見えてきました

毎月第4土曜の夜に例会を開いてきましたが、盛会続きであわただしい例会が続き、もう少しゆとりある例会をと模索していたところに、大阪ビデオクラブとの合併話が生じ、こちらがウィークデーの昼間の例会をやっていたので、その昼間の例会をOMCのもう一つの例会にしたかどうかということで始めたのが、OMC第2例会でした。当初、何人位の人が集まるだろうかと懸念もありましたが、なんと通常の夜の例会と同じ位の人が参加され、実はびっくりしている次第です。

第2例会は、どちらかといえば初心者向けで、一作品ごとに時間をとって会員諸氏の意見や助言を求めながら、即ち勉強会的なもの、何かテーマを決めて研究会的なものと、2本柱で運営していく予定でした。ところが一般作品が多く出品され、せっかくの資料をそろえて研究会を開こうとして頑張っていた講師役の世話役さんの出番が、片隅に追いやられてしまうということが起こりとまどっている次第なのです。研究会としては質疑も含めて2時間は必要ということですので、原則として1時から3時までを研究会とし、その後休憩をはさんで4時45分迄を一般作品の時間とします。時間切れで上映できなかった分は次回まわしとなります。研究会に出席したくない方は3時頃から参加されてもよいかと思えます。

### ■第2例会の運営方針（当分の間の変更:とにかくやってみて考えよう）

- ・1時～15時まで研究会、質疑応答、意見交換、経験談の披露など
- ・15時～16時45分まで一般作品上映、作品に対する講評、意見、助言など
- ・研究会としてはパソコンシリーズの次は音の問題を関氏が担当します
- ・資料印刷費、パソコン運搬、駐車場代等経費がかかる場合、500円要負担
- ・ミニ撮影会などやOVCでやっていた課題コンもどうかと検討中

### 9月例会のお知らせ

- 第2例会:第3木曜17日13時より研究会 15時10分より作品上映
- 通常例会:第4土曜26日の18時より、いずれも大阪市立難波市民学習センター
- 第2例会で先月配られた資料は今月の研究会でも使いますのでご持参ください。  
暑さも和らいできました。多数のご参集をお待ちしています。

## 全国ビデオ映像コンに

### 前田、高瀬両氏が入選

- ・入選1席 雛流し 前田茂夫
- ・入選2席 祇園祭甦る大船鉾  
高瀬辰雄

おめでとうございます。

## OMC映像フェスティバル

会場設営お手伝いと、観客動員の方、よろしく願いいたします。今年も大勢の方々に来て頂き盛会を祈っています。

## 懐かしの映像を楽しむ会

今年4回目を迎える「懐かしの映像を楽しむ会」は10月16日(金曜日)13時より、大阪市立難波市民学習センター講堂で開催されます。今回は、8ミリフィルムからHi-8時代までの作品から選んで上映されます。8ミリ映写機を使った上映も予定しています。楽しみにして下さい。

## 大阪アマチュア映像祭

恒例の大阪府下の映像クラブが作品を出し合って上映会を行うもので、今年も大阪市立中央図書館との共催で、来る11月1日(日曜日)13時より開催されます。プログラムは、8月31日に行われる編成会議で決まりますが、OMCからは4作品が予定されています。プログラムが出来ましたらお渡ししますので、観客動員にご協力ください。

## 8月通常例会レポート

今夏は暑い日が続き、8月例会日も残暑厳しい日でした。しかしながら例会には21名、一昨日の第2例会には22名の方が参加されたのに、2日後の通常例会にも21名の方と14本の作品出品があり誠に盛会でした。

今月の司会は有村氏、書記、合原氏、映写係、井上、河合の両氏、録画、江村氏、掲示、紙本氏、受付兼照明係は宮崎、森下の両氏、以上の皆さんの運営進行の担当でした。

■出席：有村、井上、江村、岡本、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、高瀬、柴辻、華岡、前田、宮崎、森下、森田、山本、赤澤、坪井、西村(亀雄)の21氏。

■作品上映(今月の講評は合原会長)

### 1. 15よさこい(BD)

森田光春 8分45秒

江村さん等、よさこい祭りの映像はずい分と拝見したが、やはり本場のよさこい祭りに出ている若い女性たちの楽し気な表情はいいですね。伸びのびと歌い踊る姿は見ていてほほえましい。

題名の15が一瞬とまどいました。第15回かと。そんな筈はないなと思いついて、2015の略だろうと思いついたのですが、ここは2015とするか'15とすべきなのではないでしょうか。暦には西暦も平成もありますからまぎらわしくないようきちんと書きま

しょう。

## 2. 狗去りて猪来る (BD)

前田茂夫 14分55秒

台湾の暗部・228事件というサブタイトルがついています。作者のご一家は終戦の翌年に台湾から帰国されてきました。その直後に発生した228事件では3万人が殺されたといわれています。終戦後海を渡ってきた中国人の質が大変悪く治安の悪化、経済の疲弊、政治の腐敗が横行、遂に228事件に発展したと、現地ガイドの説明を主に綴っておられます。1949年蒋介石が中共との戦いに敗れ台湾に逃げてきて直ちに戒厳令を發布、以降38年間暗黒の時代が続いたそうです。その間2万8千人が殺されたいわれています。白色恐怖時代とされる。

国民党政権によって塗炭の苦しみを味わったが、今、国民党と蒋介石を称える「中正祈念堂」が市内のあちこちに建てられています。この巨大な施設を見て台湾の人は本心からはどの様に思っているのであろうかと結んでおられます。なかなか考えさせられる作品でした。

## 3. 廃線ぶらり歩き② (BD)

紙本 勝 8分20秒

神戸電鉄三木駅から1キロほど歩くと、以前の三木駅跡があります。木造の古い廃屋です。ここから廃線となった線

路の跡を歩いていかれます。廃駅舎やホーム、看板などそのまま残されています。一部線路も残されていて今にも三木鉄道が動き出しそうな雰囲気があります。

3時間あまりの廃線路のぶらり旅だったと語っておられますが、貴重な記録映像でもあります。紙本さんの健脚ぶりに改めて感じ入った次第です。

## 4. 小木とも旗祭り (BD)

河合源七郎 7分56秒

能登の祭りは、河合さんによってほとんど紹介されてきたと思っていましたが、船二艘をくくりつけて真中に高さ10数米もある幟を立て、海上パレードをするという、勇壮な祭りです。又、大御輿を載せた二艘の船も加わり祭りらしさの雰囲気が伝わってきます。ナレーションが無いので、祭りの由来とか場所とかくわしいことは判りませんが、苦勞して撮影してこられたな、ということは窺えます。

## 5. よさこい帯屋町 (BD)

江村一郎 7分34秒

江村さんのよさこいは毎度定評があり、今更講評でもありませんが、今回もスローモーションとか早送りみたいな特殊技術が多く使われ効果をあげておられます。踊り手の真剣でしかも自信をもっている、そして楽しんでおられる表情がUPの顔によく表現されています。惜しむらくはピントの甘い箇所が数ヶ所に見られたことで、これは

カットされるべきでしょう。

## 6. 熱球甲子園 (テレネ→BD)

高瀬辰雄 11分25秒

今年100回記念の夏の甲子園高校野球大会が終わったばかりですが、これは第64回の甲子園高校野球の記録ということで、実に36年前、8ミリフィルムでの記録映像ということになります。当時も甲子園の高校野球は大盛況で盛り上っていたことが伺えます。選手も応援団も一体となって燃え上がっている様子がよく描かれています。

現在は場内では撮影禁止だとかでビデオを楽しむ私たちには残念な話ですが、この頃は自由に撮影できたものです。撮影もプレーする選手と応援する人がうまくかみ合っていて迫力を出していました。

ただ、分らないのは、途中で優勝旗の授与式と校歌を歌っている場面がありましたので、これで終わったのかなと思っていたら、再び試合の様相が続いて、ラストシーンの選手達が抱き合うクライマックスへと繋いでありましたので少し混乱しました。ここは構成を見直したいところと思いました。ちなみに本作品は1983年(S58年)富士8ミリ映画コンテスト入賞作です。

## 7. チンクエッレ (BD)

華岡 汪 9分39秒

華岡さんにはいつも欧州の珍しい世

界遺産を中心に、あまり知られていない観光地の旅行記を見せて頂いておりますが、今回はイタリヤ編です。題名は町の名ですが5つの漁村の総称を表す地名だそうです。

この作品には日本人の女性と思われる人も出ますが、これが奥さん、という紹介がないので判りません。

海外旅行は体力がないと行きたくとも行けません。体が動ける間に海外旅行を楽しみたいものです。また一人で行くより家族同行の方が安心で助け合うことも可能です。せっかく行くなら、その時の楽しい思い出を残すべきです。妻と行ったあの旅この旅、思い出として、記念として、堂々と奥様を画面に出し、共に画面に登場させて楽しかった旅の記録にし、又、その時の感想を語りたいたいものです。単なる観光映画にしてしまっては惜しいし、観客の感動も湧いてきません。今後の作品づくりの参考にして下さい。ついでに題名のつけ方にもひと工夫されては如何でしょうか。

## 8. 葛飾柴又 (BD)

有村 博 5分10秒

懐かしのフーテンの寅さんで知られる柴又界限ををぶらり散策されたもので、矢切りの渡し渡舟場、帝釈天と見事な壁の彫刻、商店街、山田洋次ユーリアムの正面、寅さん会館などが撮られています。柴又という地名はよく知られていますが、関西の人は当地を訪れた方は殆んどいないのではないかと思います。ナレの位置と実景の位置が

異なるのが気になりました。

## 9. 生きている北前船の心意気

(BD) 進藤信男 12分50秒

北前船とは江戸時代18世紀中頃から明治時代にかけて、北海道と大阪を日本海回りで往復して寄港地で積荷を売り、新たに仕入して価格差により稼いでいた帆船のことを言う、という導入部前の解説が入ってから本編が始まります。取材地は兵庫県豊岡市竹野町、日本海に面した小さな港町です。現地の紹介があり後半は北前まつりの場面です。中学生のブラスバンドや中年女性の踊り、ラストは太鼓の演奏で終わりです。城崎温泉駅の次の駅あたりの土地らしいですが、遠くまで出掛けられて作品にされているご努力には敬意を表します。

一方、第三者から見て”心意気”なる題名のように心に伝わって来ないのは何故でしょうか、ここは当事者たちの語る言葉が欲しいところです。伝統を受け継いでいくことの課題や熱意のほどがきつとある筈だと思います。地方にもこんな祭りがあることは勉強になりました。

## 10. 旧満州に行く (BD)

山本正夢 10分40秒

15年ほど前、海外旅行に初めてビデオカメラを持って撮影した4:3映像ですが、編集は最近行われたという

作品。旧満州の広野を鉄道を使って旅をされた映像で、中国・ロシアの国境

の街、満州里、フィンボルト平原、ノモンハンと続き、ここではノモンハン事件(1937年)のことを兵器や弾薬などが展示されている博物館が紹介されています。かつての戦場は今はモンゴル領とか。続いてハイラルの町、破壊された橋、ハイラル要塞、対戦車壕、地下トンネル等、戦跡が紹介されます。更にチチリル、ハルピン、ここで伊藤博文公が暗殺されたこと、そして731部隊の跡など、満州にまつわる戦中戦後の苦難の道を偲ばせてくれる貴重な映像でした。それにしても初めて手にされたビデオカメラで、よく丁寧に手振れもなく落ちついて撮影されたものと感心しています。

## 11. 市公館の庭園 (BD)

赤澤與三郎 4分23秒

手持ちのデジカメで撮影された由ですが、落ちついてよく撮られています。題名の市公館の庭園だけでは、大阪以外の人には、どこの市にこんな立派な庭園があるのだろうか、一度行ってみたいと思う人は多くいることでしょう。ここは大阪市で桜ノ宮にあり、普段は公開されていませんよ、ぐらいのコメント(字幕で結構)は必要でしょう。大阪市民でさえ見たことがない人が多いと思います。花菖蒲の季節で、美しい庭は見事です。

## 12. 陽SunSet (BD)

坪井仁志 3分00秒

大阪市港区のご自宅の辺りから港の

夕景を数々の素晴らしい映像で撮っておられます。日本人は朝陽とか夕陽とかが好きだといわれ、写真のグループで撮影旅行すれば必ずとっていいほど、日の出や日没の撮影ポイントが用意されているものです。坪井さんは居ながらにして素晴らしい撮影ポイントの近くに住まわれているので、うらやましい限りではありません。よくマッチしたBGMをバックにしたサンセットの映像にしばし見とれていました。

### 13. よく頑張ってきたね (HDV)

合原一夫 21分00秒

自分の作品の講評というのもナンです、この作品にまつわる余談をお話ししましょう。この作品の副題に「君の生涯」という言葉をつけております。題名を決める迄にはいろいろと迷いました。「妻の生涯」「妻の人生」どちらがいいのか、第三者的に言えば「妻の」がいいのかも知れませんが、ここは語りかけの調子がいいのではと「君の生涯」にしました。しかし、言いたいことは「病弱ながらよくここまで生き、いろんな面で頑張ってきたね」という想いから「よく頑張ってきたね」を優先させて「君の生涯」をサブタイトルにした訳です。ですから作品構成も、生きてる喜びややり遂げる姿を優先的に集めて脚本づくりをしたのですが、あれもこれも捨てがたく、

最初編集したときは30分を越す長さとなり、これは大変だと脚本の見直し、カットの縮小など何回も手直しして、

結局21分まで縮めたところで時間切れ。プログラム編集会議直前になってようやく一応の纏りを得ました。作品的にはあと3分ほど短縮したいところです。

この作品は8ミリフィルム時代からのテレシネ部分や4:3のVHSやHi8時代のものも多くあり、欲しいカットを探し出すのに時間がかかりました。私の場合、素材をカット絵と共に時間ごとにリストにしていますので、まずはそのリストを見て付箋をつけておき、素材テープを探し出して順番に並べ、脚本の順に必要なカットをキャプチャーしました。まだテープを素材にしているからこうしたやり方が出来るのですが、カード方式になった場合、簡単に目的のカットを探し、そのカットだけをキャプチャーしたいと思うとき、それが可能かどうか不安です。何とかありませんか？

### 14. 風かおる (BD)

柴辻英一 7分00秒

字幕で「これは或る結婚式場での模擬ガーデンパーティの写真撮影風景をスナップしたものです」とのコメントが流れてきます。青空の下、華やかなお料理やケーキの飾りつけが行われています。そこに花嫁のドレスを纏った可愛い若い女性の登場で、ハッピームード一杯のガーデンパーティの開幕です。楽しい雰囲気柴辻さんならではの作品でした。

## 第2例会レポート

第2回目になる OMC 第2例会は、8月20日午後1時より第1研修室で開催。出席者は22名という通常例会と変わらぬ盛況で驚きました。前回、パソコン研修会が時間の関係で出来なかったのも、今回は前回お約束した通り研究会を先行して行いました。講師は進藤世話役で、テキストも16部分用意されていましたが、一部の方には回らず失礼しました。次回もパソコン研究会の続きがありますので資料をお持ち下さい。

### ■第1部 研究会の部

・パソコンの初歩的知識 第1回 保存他フォルダーとファイルのこと、パソコンの基本事項についての解説がありました。

■出席者：有村、江村、植村、河合、紙本、合原、蟹江、進藤、関、柴辻、西村、西村(亀雄)、野田、華岡、高瀬、宮崎、坪井、前田、森口、森田、吉岡、山本の22氏。

### ■第2部作品上映 (講評は紙本世話役)

#### 1. 神々の島 バリ

山本正夢 10分20秒

トップはタナロット寺院、大きな波に飲

み込まれそうな小島に建つ観光名所、バリ島は神々の島、神像が次々と現れる。そして美女のレゴダンス、毎朝家の前にチャナンと呼ばれ祖先を供養するお供え

をする。そこに激しい雨が降り注ぐ圧巻です。椰子の木が伸びた棚田が美しい。グヌカウイ寺院遺跡が目を引き聖水の宗教とまで呼ばれるバリヒンズドー教、聖水を求めて群衆が歩き沐浴して祈りを捧げる。バリ島には一万を超す寺院があつて、どこかで行われているのがオランダのようです。最後はケチャダンスと呼ばれる踊りに観衆がわく。とにかく私が観たバリ島の映像とは一味違う山本さん独特の撮影・編集技法での素晴らしい作品を見せてもらいました。

#### 2. なついろの空

坪井仁志

4分16秒

大阪南港の緑の木々と青空に夏の象徴の入道雲が湧き、1本のひまわりが黄色に伸びて心憎い。雲は次々と変化してゆき、飛行機雲が青空に溶け込む。そして怪しげな雲行きに変わり稲妻が走る虹が浮かび、やがて夕焼けが町に出船に映え飛行機がよぎる。坪井さんにとっては、お庭同然の南港近辺とはいえ、日常のさりげない風景をとらえて1本の作品に仕上げられるのは何時もの事ながら特技のように思えて感心します。

#### 3. マンホール紀行2

紙本勝

12分00秒

茨城県常総市石下ほか25箇所を関東編として纏めてみました。平成9年から、旅をしたとき忘れないよに撮り始めたもので、DVありHDVありAVCHDありで、少々映像の劣等なものもありますが、致し方のないところです。取り始めの動機

は綺麗な絵が多くの人に踏まれているのが惜しいと思われたからです。ところで、私事ながら司会者の質問に筆者の答えがちぐはぐで失礼な限り、実は昨年の堺祭りで鉄砲隊の轟音に、年のせいか、突発性難聴となり度合いは進み快復の見込みはありません。皆さん方にもご不快感やご迷惑をおかけして恐縮ですがご容赦願いたいものと思っています。

#### 4. 季節は巡る奈良公園

有村博 12分00秒

猿沢の池と興福寺の五重の塔から始まり、奈良公園の美しい風景が展開します。新緑の頃の鹿の生態の詳しい説明が続きます。二月堂、大仏殿 秋 鹿の角きりの行われる理由がわかります。いちょうの黄金色の落ち葉の上を鹿が歩く印象的です。秋の大仏池が好きだといわれる作者、成る程と思います。冬、そして桜の季節、浮見堂・春日大社・若草山・二月堂に登る石段の木蓮のアップ、いずれにしても美しい風景が魅力で、作者は年に数回は奈良を訪れるれると語っておられます。四季それぞれの風景を余すところなく映像化されているのは流石と感心して見せて頂きました。

#### 5. 日光東照宮見聞記

吉岡貞夫 17分45秒

日光の表参道から杉並木そして鳥居をくぐるとガイドさんの説明が始まります。五重塔・表門仁王像・上神庫・三神庫等々、面白いのは神厩舎に彫刻された猫八景です。猫の一生が描かれて、人間の平和な一生の過ごし方を説いたものとか、ずっと説明が続きます。圧観は矢張り

陽明門でしょうか しっかり撮っておられます。眠り猫は勿論 神楽殿で説明は終わりますが、一見容易に見えるのが説明と映象 の収録です。でも実際はきっちり集音しながら映象を撮るのは大変な作業で、そこは取材に慣れた吉岡さんの事、矢張り確かなものでこんなに詳しい説明を聞いたのは、私ははじめてですが、ガイドさんの説と映象を併せて貴重な作品になっていると思われました。

#### 6. 望郷

野田邦雄 10分10秒

中央アルプスと南アルプスが見渡せる高地には日本の原風景が残っている、とテロツツプが流れる。下栗の里を経て、佐智村を訪ねられた作者が観たものは戦後70年の記憶だったようです。村には「満蒙開拓平和記念館」があつて当時の貴重な資料が展示されている様です。取材の画面に、広大な大地を求めて満蒙開拓団32万人が満州に渡ったが、敗戦で10数万人が尊い命を失った。と、テロップが重ります。鎮魂碑広場では慰霊祭が行われていて、その様子が取材されています。

國の政策に従って満蒙開拓団として渡満した人々が望郷の念に駆られ、生死を分けてから70年、その記憶は決して無駄にはならない事を感じさせる 立派な作品になっていました。

